

年頭所感

昭和ホールディングス株式会社 代表執行役最高経営責任者 此下 竜矢

お取引先の皆様、株主の皆様、関係者の皆様、新年あけましておめでとうございます。
2013年、当社グループはカンボジアでのオートバイリース業開始、農業機械分野への進出、タイにおける新たな子会社の設立などの海外事業の強化とともに、国内において新食品工場の稼働開始、ゴム事業の業務提携など積極的に展開を進めました。

これと同時に、2012年6月発表の中期経営計画「アクセルプラン2012」の実現に向け、着々と投資を進めました。人材の獲得、人材の育成、支店網の拡充などを通じ、開示に現れない当社事業の質的な充実を高める取り組みを急速に進めております。当社の事業としての取り組みが極めて順調に進み、「200年企業」に向けて大きく前進した一年でした。

当社グループは1970年代後半より「失われた35年」をすごし、緩慢な崩壊に向かっていました。しかし、直近6年間で当社の業容と風土は一変し、新しいチャレンジを行う企業グループとなりました。社内の若手から経営を担う次期社長人材が次々に生まれてきています。

当社は今、大きな変革期を経て、さらに前進を続ける成長期を迎えております。企業グループとしての当社グループに重要なことは「開拓者精神」を持ってチャレンジし、各事業のミッションを大胆に実現していくことと考えております。そして、社内においてはこれまで涵養した経営人材に重責を果たしてもらうとともに、社外からも積極的に人材を登用してアジア中に事業を拡大してまいります。

2014年は、2013年に引き続き、新たな開拓を次々に行う挑戦の年になります。皆様にも、我々自身にも予想のつかないほどの成長をお見せして、本年を走り抜けます。なにとぞ、皆様、ご期待くださいますよう、お願い申し上げます。



2014年1月14日